



【学年通信は保護者の方にも見せてください】

### ◆「紙の要項」の効能。

1/18(木)・25(木)LHR では、第一志望の大学の募集要項を紙媒体で各自が用意し、志望理由をかためようというワークを実施しました。ここでは国公立大学を前提に話を進めますが、募集要項に初めて目を通した人もいたそうです。大学によって入試科目・配点や、出願要件・出願書類の書き方が大きく異なり、どこに何を書いてあるのか、見付けるのに苦労したという人もいたそうです。共通テストの点数が圧縮され、個別試験(二次試験)の点数と合計されて合否が判定されること、共通テストの点数の圧縮具合は大学・学部によってかなり異なることを初めて知ったという人もいたそうです。要項の出願期間の欄を見て、国公立大は前期・後期・中期(一部公立大学のみ)とも、同じ出願期間中にまとめて出願するというのを発見した人もいたそうです。中にはパンフレットと募集要項の違いに気付いていなかったという人も…。資料取寄せサービスを通じて、大学が発行する冊子の募集要項を用意した人。申し込みから手元に届くまで時間がかかる場合もあれば、すぐに届いたものもあったと思います。大学の Web ページで公開されている募集要項の PDF ファイルを印刷して持参した人。PDF ファイルの印刷ってどうすればいいの?と苦戦した人もいるでしょう。自分が用意したものと周囲の人が用意したものを見せ合ったならば、様々な大学の募集要項に目を通す機会が得られたことでしょう。自分が志望する学部・学科・専攻の記載に付箋を貼ったり、Web 出願では出願ポータルなどに事前登録が必要だったりということを見出し、ラインマーカーを引いた人もいるでしょう。——それらの全てを、2年生のうちにやっておいてほしくて、このワークを企画しました。

✓ 2年生のうちに、自分が想定している大学の Web ページで募集要項がどこに掲載されて

いるのか見についておく。

- ✓ 2年生のうちに、一度、資料を取寄せておく。
- ✓ 2年生のうちに、自分が使える印刷環境の確認をしておく。あるいは、印刷環境をどうするのか保護者と相談しておく。
- ✓ 2年生のうちに、募集要項の印刷を試みる。
- ✓ 2年生のうちに、“大学の出願ってこうなっているのか”と気づき、大事な箇所にマーカーを引いてみる。

進路 NEWS に書いたように、「3年になってから初めてそれをやりますか? 2年から出来ることは、2年のうちに始めておきませんか?」——これが基本路線です。2年1月よりも3年夏の方が余裕はなく(募集要項の公表は概ね7月です)、3年夏よりも3年秋冬の方がもっと余裕がない。そんななかで上記のことに時間と手間をかける必要はありません。2年のうちに準備しておくことであるにも関わらず、不安が増し、気持ちが切迫してくる時期に限られたリソースをつぎ込む必要はありません。今から出来ることは、今のうちに——です。6教科フル科目のマーク模試も、3年生になってから初めて挑戦するのではなく、2年生のうちに一度やっておく——これも、その考え方に沿って 77 期から導入しました。全国規模で参加人数が大きい河合塾やベネッセのマーク模試は、3年生では5月実施回が初回であるため、マーク模試の感覚をそれより3ヶ月早くつかんでもらい、春休み~5月の学習に役立ててほしいというねらいがあります(ぜひ役立てるべし)。

ところで、志望理由書ワークでは、PDF を画面上で確認するだけでは不十分で、紙媒体の募集要項を用意するよう求めました。クラスの 3/4 が持参したところもあれば、クラスの 3/4 が持参していなかったところもあり、学年全体では概ね6割の人が持参していました。要項を

確認するためなら、データでも充分なのに…と  
思ったかもしれませんが、紙媒体にこだわった  
のには理由があります。まずは左記の通り、印  
刷環境の確認です。Web 出願であっても、手続  
きの最後に必要書類をプリントアウトし、学校  
が発行する調査書と一緒に大学へ郵送するとい  
う作業が必ずあります。推薦入試であれば、志  
望理由書や活動記録などの書式をプリントアウ  
トして記入するという形も多く見られます。書  
類送付用の封筒が学校から支給ではなく原則自  
分で準備するのと同様に、書類のプリントアウ  
トも原則として学校ではなく各自で行ってもら  
います。さらに理由のもう一つ、これが最も大  
きな比重を占めるものなのですが、要項を PDF  
で見るだけの3年生が年々増加し、結果として  
出願ミスも増加傾向にあることへの防止策です。  
ミスの理由のほとんどは、要項をしっかりと読み  
取れていないことに起因しています。必要箇所  
・ページの読み飛ばし、スマホで表示を拡大  
して見ていたら、必要箇所が画面の外側に切れ  
ていて見落とした——等、状況は様々です。画  
面上ではマーカーも引けず（一応、画面上で引  
くことは出来ますが…実際にそうしている人が  
どれくらいいるのでしょうか?）、付箋を貼るこ  
とも出来ません。ごく一部のよほど処理能力が  
高い人は例外かもしれませんが、ほとんどの人  
にとって、デジタルは“きっちりとした文書”  
を読み込んで頭に入れるには不向きな表示ツ  
ールであり、依然として私たちが「ラップトップ  
を抱えた『石器人』」（行動生態学者・長谷川真  
理子さんの評論）であることをよく示していま  
す。進路指導部の先生や担任の先生に出願のこ  
とで相談する際にも、画面で示すよりも紙媒体  
で見てもらう方がやりとりがしやすく、メモを  
書きこむことも容易で、かつ自由度も高い。ち  
なみに国公立大の推薦入試は受験資格（要件）  
や必要書類が、大学ごとにも学部ごとにも千差  
万別で、かなり細かい内容まで把握しなければ  
ならない場合も多く、とても画面で一瞥して把  
握出来るようなものではありません。推薦入試

の出願を検討している人は、絶対に紙媒体の要  
項を用意してください。

出願ミスによる「出願不受理＝受験できない」  
は、大学受験では本当に起こり得ることです（こ  
れまでも実例あり）。ミスを防ぐため、次年度も  
必ず紙媒体の要項を準備してください。出願す  
る全ての大学分を準備しなかったとしても、せ  
めて第一志望・第二志望くらいは受験生必携と  
して用意すべきです。そして、いま手元にある  
要項は、ワークが終わったら自分の勉強机に鎮  
座させておきましょう。その存在はきっと、時々  
くじけそうになる自分を導いてくれます。

### ◆梅の開花

生野高校の校章は「梅」。登高賦にも「白梅」  
が登場します。寒さのなかにおいて花開き、いち  
早く人々に春の兆しを届ける——陽気が満ちて  
から開く桜と違い、まだ厳しい環境のなかで先  
へ進み、先導する姿に惹かれます。下足前だけ  
でなく、中庭も含め校内数か所に梅の木が植え  
られています。ぜひ見付けてください。自ら先  
を行き、他者を導く——その姿にみなさんは何  
を思うのでしょうか。

### ◆当面の予定

1/25(木)LHR：進路 HR（志望理由書その2）

放課後：ベーシック再テ<国>

26(金)放課後：ベーシック再テ<数>

31(水)放課後 SSH・探究Ⅱ成果発表会準備

2/1(木) 午前：60分授業

午後：SSH・探究Ⅱ成果発表会

5(月)放課後：医療・看護系説明会

昼・放課後：次年度用証明写真撮影

8(木)LHR：学年集会

9(金) 耐寒登山（葛城山）

14(水)放課後：新3年生対象 推薦入試説明会

後期期末考査1週間前突入

放課後教室開放（～2/27 火）